

論 説

社会記録と裁判員裁判	齊藤 豊治 (一七)
「競争法」のグローバル・スタンダード論に関する覚書	根岸 哲 (一)
アメリカ刑事陪審における量刑実情 — 裁判員による量刑を考えるために	丸田 隆 (三)
西オーストラリア州の量刑と犯罪者処遇	前田 忠弘 (三五)
Voice as Posture: Power of Voice That Doesn't Form into Stories	西田 英一 (五一)
権利能力なき社団・財団の準拠法の適用範囲について	酒井 一 (四)
環境アセスメント指令と環境団体訴訟 — リューネン石炭火力訴訟判決 (欧州司法裁判所二〇一一年五月二二日) の意義	大久保規子 (五)
韓国における国際物品売買契約に関する国連条約の適用について — 相殺を中心として	金 汶淑 (六)
従業員の株式会社経営への参加 — フランス法との比較において	山本真知子 (七五)
地方税財政における鼎立不可能な制度理念	北村 亘 (三)
財政規律、自律性、地域間格差是正	櫻井 智章 (四五)
事情の変更による違憲判断について	

紹 介

著書紹介：人々の思考の極端化現象と民主主義

CASS R. SUNSTEIN, GOING TO EXTREMES (Oxford Univ. Press, 2009)……………早瀬 勝明 (三〇七)